

令和8年(2026年) 1月号



学校だより

睦月

January

ホームページ <http://www.hokushin-j.sapporo-c.ed.jp>

札幌市立北辰中学校

札幌市北区北 18 条西 2 丁目 2-1

TEL : 011-716-6151

FAX : 011-716-4172

「受け継がれる思い、つながる日常」

主幹教諭

2026年も、あっという間に1か月が過ぎました。年末年始にかけて、各地で地震があり、心配な思いで新年を迎えられた方も多かったことと思います。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、この1年が穏やかで安らかな年となることを願っています。

さて、年の初めを迎えると、「初」という言葉がもつ響きのせいか、どんな出来事にもどこか清々しさを感じます。みなさんも書初めなどの宿題や学習、部活、家の行事など、新しい一年の始まりでもある冬休みを、新鮮な気持ちで過ごせたのではないのでしょうか。

先日、「70年前に北辰中学校で数学の教師をしていました」と声をかけてくださった方がいらっしゃいました。当時の学校の様子や、生徒との思い出、昭和ならではのご苦勞を懐かしそうにお話されました。時代は違えど、北辰中学校を大切に思い、北辰中学校の生徒への思いの深さが伝わってきました。そして、その方が現在、偶然にも本校の校区にお住まいであること、昨年6月に実施した家庭科の授業「地域の高齢者と対話する家庭経済」の学習に参加してくださっていたことが分かりました。その方は、3年生の皆さんと共に学んだ時間を「本当に感動的だった」と振り返ってくださいました。3年生のみなさんの、話を聞く真剣な姿勢、相手を大切にする対話の様子、学びに向かう前向きな姿勢に心を打たれ、「この生徒たちがいるなら、北辰中学校はこれからも大丈夫だと確信しました」と力強くおっしゃってくださいました。その言葉は、私にとっても大きな励みとなりました。

本校は現在、開校80周年に向けて様々な取組を進めています。その一つが、標準服のリニューアルです。現在、制服メーカーの方と打ち合わせを重ねており、近くいくつかの案を皆さんにお知らせできる予定です。打ち合わせの際には、制服メーカーの方が廊下から教室をご覧になり、生徒のみなさんが授業に真剣に取り組む姿を見て感心され、さわやかな挨拶、丁寧な対応について、いつもお褒めの言葉をいただいています。そして、「北辰中学校の生徒のみなさんのために、最高の標準服を作りたい」とおっしゃっています。

「伝統」という言葉は、単に長い歴史があるということだけを指したり、押しつけやしがらみを与えるものではありません。日々の学校生活の中で、一人一人が誠実に学び行動する姿が、地域の方々に認められ、信頼として積み重なっていくことこそが、北辰中学校の「伝統」なのだと思います。2つのエピソードは、決して偶然起こったものではなく、日常を大切に過ごしている北辰中学校の生徒のみなさんの姿があってこそその出来事です。これまで先輩方が築いてこられた歩みを大切に、安心して学ぶ環境をみんなで確かめ合いながら、今を生きる皆さん自身の姿で、新しい歴史を今年も積み重ねてほしいと願っています。

2月行事予定

3日(火) スキー授業

5日(木) スキー授業

9日(月) スキー授業

10日(火) 公立推薦入試①

12日(木) 定期テスト④、3時間授業(給食なし)、部活動休止日、公立推薦入試②、私立A下見、新入生保護者説明会

13日(金) 定期テスト④、4時間授業(3年給食なし)、完全下校、私立A入試1日目

16日(月) A時間割開始、私立B下見

17日(火) 私立B入試1日目、4時間授業(3年給食なし)

18日(水) 私立B入試2日目、局常書議会

20日(金) 小中一貫全体交流会、完全下校、部活動休止日

24日(火) PTA運営委員会、全校協議会

25日(水) 得点通知表配布(1, 2年)

27日(金) 校内研修会、完全下校、部活動休止日

3学期の抱負～各学年の作文より～

「2学期の反省と3学期の目標」

1年生徒

私にとって2学期は、新しいことに挑戦し、多くの経験を通して成長を感じることができた期間となりました。2学期になり、学校生活にも少しずつ慣れて、体育大会や合唱会、北辰祭などの行事では、クラスや男女関係なく協力して、積極的に取り組むことができました。特に、合唱会では、分からない部分は教え合ったり、朝練習や昼練習にも積極的に参加しました。それを通して、仲間という存在の大切さや、助け合う大切さに改めて気付きました。一方で、勉強や日々の生活において、やるべきことを分かっている、計画的に進めることができず後回しになってしまうことがありました。そのため、提出物や学習に余裕をもって取り組めるようになりたいと思いました。この2学期の反省を通して、3学期では、やるべきことを見通して計画を立てることで、時間に余裕をもち、あせらずにやりとげるということを目標に頑張りたいです。また、新しいことに積極的に挑戦していくことを3学期でも続けていきたいです。そして、行事だけではなく、日常生活でも積極的に行動し、何事にも計画的に進められるような2年生になりたいです。

「3学期に向けての抱負」

2年生徒

私にとっての3学期は、3年生に向け、2学期で経験した様々なことを改善したり、活かしたりしていく時間にしたいです。私は、2年生の1学期に比べ、2学期は定期テストの点数を大きく伸ばすことができました。自分の中で、1番勉強して臨んだという実感をもっていたので、結果に表れ、嬉しかったです。ただ、その後、全く勉強に対しての意欲が無くなり、勉強してもすぐに集中が切れてしまうことが多くなりました。3学期は、定期テストに向けての勉強ではなく、受験に向けての勉強という意識に変え、頑張っていこうと思います。また、私は2学期に初めて委員会活動に挑戦しました。委員として、クラスみんなが過ごしやすくなるために様々な仕事を任されましたが、どれも忘れてしまうことが多く、2学期の自分の委員会活動に点数をつけるとしたら、百点満点で10点程度だったと思います。3学期は、委員としての自覚を高め、クラスみんなのためにしっかり活動したいです。また、堅実さを身に付け、信頼を得るためにも、自己管理を徹底していきたいです。3学期は、3年生になるための準備期間だと考えています。今よりも大人な考え方ができ、何事にも動じない人になれるよう、自分の足りていないところに目を向け、成長のために努力する3学期にしていきたいです。

「2学期の反省と3学期の抱負」

3年生徒

短かった冬休みも終わり、今日から3学期が始まります。2学期を振り返ると、学習や生活だけでなく、行事での活動を通して成長を感じることができました。私は北辰祭では装飾部門のリーダーを任せられ、限られた時間の中でデザインを考え、メンバーと役割を分担しながら進める難しさを実感しました。意見がまとまらなかったり、作業が予定より遅れたりした時に、もっと早く声をかけて調整できていれば良かったと反省しています。それでも当日はみんな協力して完成させることができ、大きな達成感を得ました。また、卒業アルバム委員のリーダーとして活動した際は、特に写真選びに気を使いました。同じ人ばかりの写真が載らないように、クラス全員が公平に載るよう意識して選ぶのは思っていたよりも大変で、責任をもって進めることの重さを感じました。学習面では、テスト前にまとめて勉強しようとして、焦ることが多く、もう少し早めから取り組むべきだったと感じています。生活面でも、寝る時間が遅くなり、朝に余裕がない日が続いたことで、集中力が落ちることもありました。だからこそ、3学期は中学校生活最後の学期として、2学期の反省をしっかり生かしたいです。まず学習面では、毎日少しずつでも机に向かい、受験に向けて計画的に準備する習慣をつけたいです。生活面では、早く寝る習慣をつくり、朝の準備を落ち着いてできるように生活リズムを整えたいと考えています。また、行事で経験したリーダーとしての責任感を、残りの学校生活でも活かし、自分から行動してクラスに貢献したいです。3学期を良い形で締めくくり、次の進路へ自信をもって進めるよう、一つ一つのことに丁寧に向き合って卒業式を迎えたいと思います。

第75回“社会を明るくする運動”作文コンテスト受賞

第75回“社会を明るくする運動”作文コンテストで札幌地方推進委員会における選考の結果、本校1年生が入選に決定されました。12月に札幌方面北警察署長から賞状が授与されました。